

# 岩沼出張所工事情報 NO.9



## 阿武隈川下流寺島川向上流工区災害復旧工事

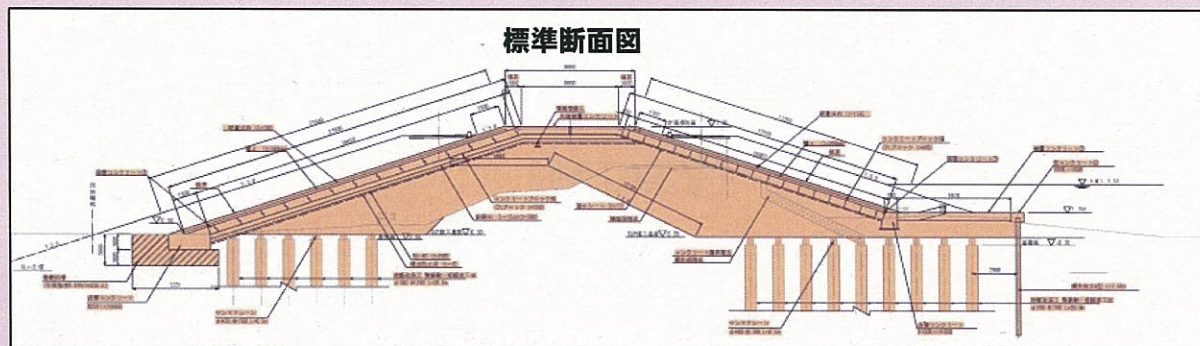
～堤防復旧工事～

■工事施工範囲■

本工事は、昨年度に引き続き阿武隈川下流左岸の岩沼市寺島地区の堤防工事を施工しています。

東日本大震災で壊れた堤防を復旧すること、再度災害を防止するため、以前よりも強い堤防を造る工事を施工中です。現在は築堤盛土・コンクリートブロックを設置中です。

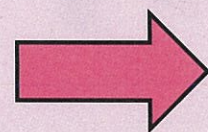
地震にも津波にも負けない、強い堤防の完成を目指して工事を進めています。



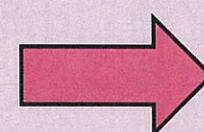
■工事施工状況■



【施工前】  
H28.4月時点

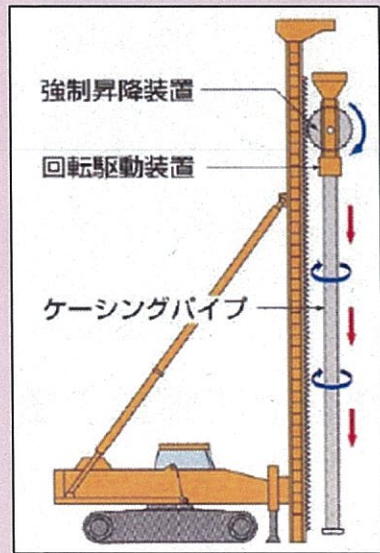


【施工中 地盤改良工】  
H29.4月現在

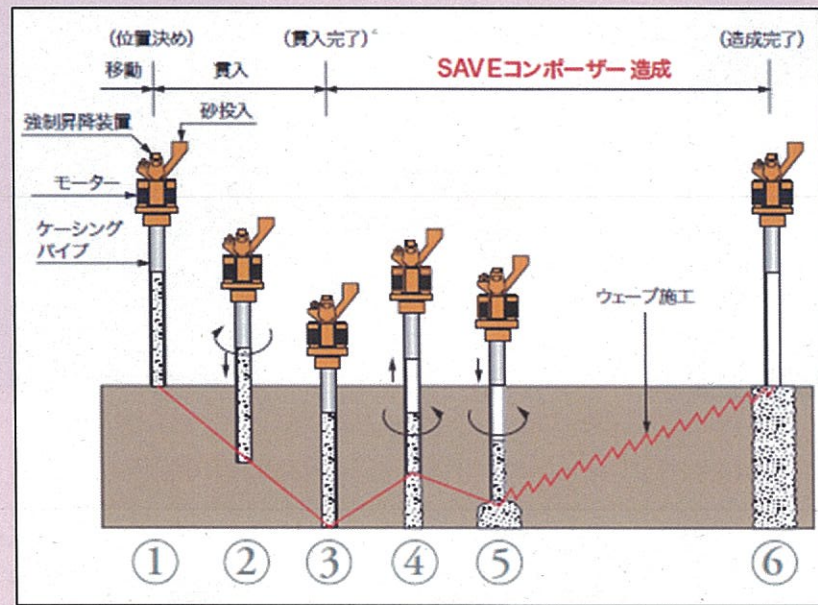


【施工中 築堤盛土・ブロック設置】  
H29.9月現在

## ～SAVEコンポーザー(静的締固め砂杭工法)とは～



【SAVEコンポーザー】



【施工方法】

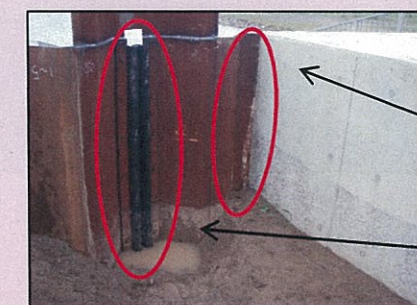
堤防を築く前の地盤改良のことで、砂で出来た杭を液状化した箇所に打ち込んでいく工法です。工事施工内容は、①ケーシングパイプへ一定量の砂を投入し、②回転させながら地中に貫入する。③所定深度まで貫入した後、④ケーシングパイプ内の砂を排出する。⑤排出した砂と周囲の地盤を締め固め、⑥作業を繰り返して砂杭を造成していく。地盤改良工法を施工することで、地震にも津波にも負けない強い堤防を造っています。

## ～遮水矢板について～

寺島地区では、浸透する河川及び地下水を抑制するため、構造物(新浜水門)と堤防との接触面に沿って遮水矢板を打設しました。遮水矢板と接合部分に弾性を有するゴムを挟むことで、矢板を続けて打設する際に振動を与えても力を逃がすことができるため、構造物への衝撃が減り壊れにくくなるという利点があります。施工方法は、バイプロハンマを装着したクレーンで行い矢板を打ち込む際には2方向から垂直度を確認しながら打設していきます。遮水矢板を打ち込むことで浸透してくる水から守ってくれる役割があります。

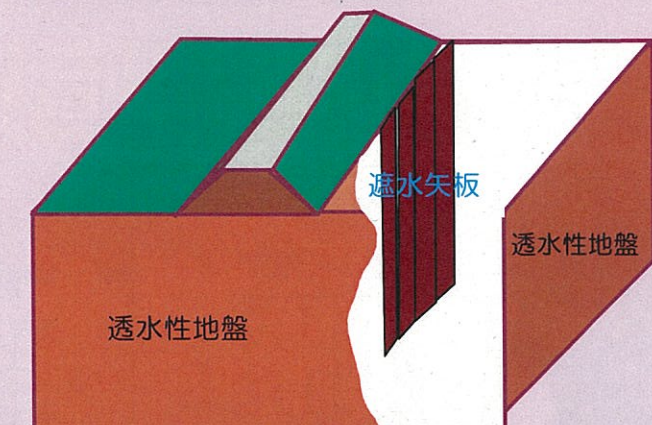


【矢板打設状況】



コンクリートと矢板を固定する

弾性を有するゴムで矢板を繋ぐ



【遮水矢板打設イメージ図】